



萌木

6月号



調布市立第七中学校

校長 山田 勝

令和7年6月30日発行

～自尊・立志・感動～

仲間との絆で得られる力

校長 山田 勝

先日実施しました体育祭では、多数の保護者の皆様にご参観・ご声援いただきました。また、PTAの皆様には受付と自転車整理等お手伝いをしていただき、ありがとうございました。

近隣の皆様のご理解を合わせ、保護者の皆様の温かい見守りの応援が、真剣に競技に取り組む生徒たちがさらに集中して力を発揮できる環境を整えて頂いた中での体育祭でした。今後とも共に生徒の成長の見守りを願います。

また、セーフティ教室では弁護士の方より「闇バイト」の危険性などのお話を伺う機会があり、改めてSNS等悪意を持った使用者との関わり方など考える機会となりました。

八雲台の地七中でともに成長する機会を持った仲間と絆を築き、高めあえる関係にその絆の力を昇華させていくことが、一人一人のより大きな成長につながることで、期待しています。

そのことを踏まえ、全校朝礼で次のように話しました。

【前略】体育祭では、どのクラスも仲間と心のベクトルをそろえて目標に向け頑張ることができ、共に頑張ることの意義も感じる事ができたと思います。クラスの仲間とともに安心して心のスクラムを組み取り組んだことで、仲間との絆を実感し、達成感を持たれたことと思います。

そのことは、あなた自身の成長です。共に頑張ることで得た成果を是非次の目標となる期末考査の取り組みにも生かしてください。

学習は一人で取り組むものですから、家でも一人で学習に向き合います。でもその時も体育祭の取り組みのように、同じように頑張っているクラスの仲間のことを思い浮かべると、誘惑に負けずに、頑張る力にきつとなります。

困難や大変なこととともに向き合っている仲間がいる、そのことを思い、また頑張ってみましょう。そのようにできると、体育祭の時などに築くことができた仲間との絆が、より自分に力を与えてくれるようになるのです。そのことを感じる事が、学校で共に学ぶことの意味にもつながります。

セーフティ教室で弁護士さんから闇バイトのことについての講話を聴きました。講話の後、少しお話を伺うことができたのですが、七中生の話の聞き方にとっても感心してくださいました。それと同時に自分たちの話がどれくらい伝わったのかとても気になる、不十分なところはなかっただろうか、誤解させていないだろうかともお話しされていました。弁護士さんというと、言葉用語のプロという印象を持ってしまっていますが、その言葉を自在に操る弁護士さんでさえ、自分の気持ちや考えを人に伝えることに腐心されている姿に、改めて自分も気持ちを伝えるときの言葉を丁寧に使おうと思いました。

みなさんは、友達とのかかわりの中で、気持ちに行き違いを感じた時、丁寧に自分の気持ちを伝える言葉を選んでいませんか。言葉にすることをおろそかにして手や足の力で解決しようとしている人はいませんか。自分が学んできたことを総動員してしっかりと言葉、正しい言葉で自分の気持ちを表現して、いい関係を作りましょう。そう考えられるようになることが大きな成長へのステップとなります。前向きに取り組む頑張りぬく七中生、応援しています。